

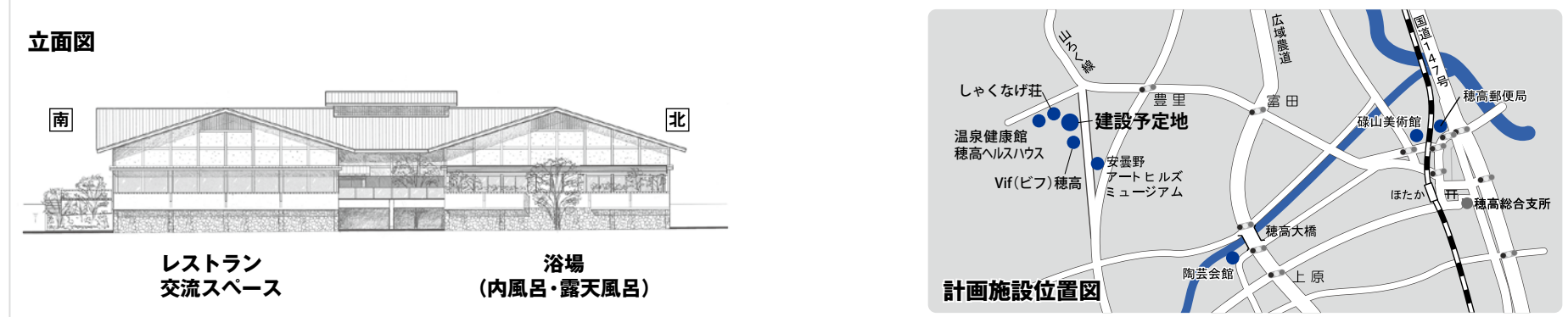
新温泉施設の整備計画の概要

市では、天然温泉を活用し、市民の健康増進と交流の場として日帰り温泉施設を整備し、合わせて魅力ある安曇野の西側山麓地域の観光拠点とするために同施設を含め周辺一帯の整備計画を進めています。この整備計画の概要について今月と来月の2号にわたりお知らせします。



温泉施設外観イメージ

外観は伝統的家屋「本棟造り」とし景観に配慮。また、レストラン、ロビー、浴場から眺望を楽しめるよう配慮しています。屋根は採光と換気機能を有し、敷地の高低差を利用して、土台を石垣風にすることで重厚感のある建物とします。



老朽化したしゃくなげ荘に代わる施設を整備

市の宿泊施設しゃくなげ荘（穂高有明・豊里区）は、良質な天然温泉を引湯し昭和48年の開業以来、地域の憩いの場として親しまれ、市の日帰り入浴、宿泊施設として、また、穂高温泉郷の主要施設として役割を担ってきました。

しかし、施設の老朽化が進み、施設利用者の要望に十分応えられない状況にあり、合併前からその対応が課題となっていました。こうした経過を踏まえ、穂高地域審議会、市宿泊施設等あり方検討専門委員会、穂高温泉郷しゃくなげ荘周辺整備検討委員会による検討経過を経て、市では、しゃくな

げ荘と隣接する穂高温泉健康館（穂高ヘルスハウス）を建て替え、新しく日帰り温泉施設を整備する建設計画を進めています。

施設は、現在のしゃくなげ荘の南東、通称山麓線沿いのビフ穂高の隣接地に延床面積約1700平方メートルの規模で建設します。事業費は約8億円（設計費、備品含む）で、このほか市土地開発公社から、建設や施設周辺整備用地の購入費として4億7700万円を予定しています。

企画提案方式により設計者を決定

建設を進めるにあたり、実施設計者の決定には、企画提案（プロポーザル）方式により、優れた技術力をもつ設計者を全国から公募しました。本年2月に設計者によるプレゼンテーション（技術提案）を行い、審査委員会で審査した結果、全国で温泉施設を手掛ける愛知県の株式会社玉岡設計に決定しました。

これまでの検討経過

●穂高地域審議会

・平成19～22年度提言書による提言「しゃくなげ荘改築及び周辺整備について」

●平成22年1月～平成22年7月

市宿泊施設等あり方検討専門委員会議

・市長の諮問を受け、行政改革の視点から市の宿泊施設のあり方について検討
市が設置する宿泊施設等の今後のあり方について「答申書」（平成22年7月）

〈しゃくなげ荘における見直しの方向性〉

- （ア）廃止の方向で検討すべきである。
- （イ）廃止、建て替えのいずれの場合においても、隣接する穂高ヘルスハウスのあり方を併せて検討する必要がある。
- （ウ）穂高ヘルスハウスを廃止し、しゃくなげ荘を建て替えるとした場合においては、日帰り入浴程度の機能にとどめるべきである。

●平成22年12月～平成23年3月

穂高温泉郷しゃくなげ荘周辺整備検討委員会

・識見者や穂高地域の地域審議会、区長会のほか、宿泊業、商工会の代表者などで構成

「穂高温泉郷しゃくなげ荘周辺整備についての提言書」（平成23年4月）

- ・天然温泉を活用した入浴施設の設置
- ・市の観光拠点とするためのしゃくなげ荘周辺整備

●市役所内関係部署による検討

・提言書を受け、市役所内関係部署によるしゃくなげ荘周辺用地活用についての検討